

徳島県立
富岡東中学校
第3学年だより

Together 3月

March

日	曜	行事予定	給食
1	月	高校第72回卒業証書授与式 3/13(土)の振替休業日	
2	火	2/28(日)の振替休業日	
3	水		○
4	木	3年生との思い出を作る会	○
5	金	①②授業,③④選抜準備 午後校舎内立入禁止	
6	土		
7	日		
8	月	生徒臨休・敷地内立入禁止	
9	火	一般選抜(学力) 生徒臨休・敷地内立入禁止	
10	水	一般選抜(面接) 生徒臨休・敷地内立入禁止	
11	木	一般選抜(追検査・追面接)	○
12	金	修了式・賞状授与式・卒業式予行 卒業式準備	○
13	土	第9回卒業証書授与式 卒業式	
14	日		
15	月	春休み	
16	火	卒業 おめでとう!	
17	水		
18	木		
19	金	富岡東高等学校全日制入学予定者招集日	
20	土	春分の日	
21	日		
22	月	↓	
23	火		
24	水		
25	木	↓	
26	金		
27	土		
28	日		
29	月	↓	
30	火		
31	水		

卒業に向けて...

中学生活も残すところ2週間となりました。3年前の入学式でいろいろな地域から集まった仲間と初めて出会い、新しい友だち作りから始まった中学生活。今ではみんな「富岡東中学校」を「ホーム」とする80人のファミリーのように仲のいい集団。よっぽどのことがない限り欠席する人もほとんどなく、明るく元気な学年！笑顔があふれる学年！何事にも前向きに取り組み、多くのことを学んだみなさん。でも、きっとこの3年間、いいことはばかりではなかったと思います。時にはくじけそうになることも、悔しくて泣いたこともあったでしょう。でも、どんなことにも意味があるのです。逆境も「学び」に変えるか、いつまでも後悔を引きずるかで、その先の生活が変わってくると思います。作者不詳ですが「失敗とは、つまりすぐことではない。つまりいたままでのことである」という名言があります。失敗しても、そこから学べることを、つまり自分の利益になることがあるはず。常に前を向いて、一歩ずつ前進し続けていって欲しいです。みなさんをずっと応援しています！

さて、気持ちはもう高校生の気分になってきていると思いますが、(同じ校舎にいるのはわかっているけど、先生方はちょっとびり寂しいのですよ...)これから3学年の総まとめの時期です。最後まで気を抜かず全力投球でがんばりましょう。3月19日(金)は、富岡東高等学校全日制の入学予定者招集日です。入学説明や教科書等の販売があるだけでなく、国語・数学・英語の学力テストも実施されます。いわゆる「クラス分けテスト」です。「能ある鷹は爪を隠す」という諺がありますが、ここは爪を隠すところではありません！しっかりとみなさんの実力を発揮してくれることを期待しています。また、中学校で使用した教科書やノート、ワーク類はきちんと整理しておきましょう。中には高校生活でも、中学校の復習として使えるものもあると思います。すぐに捨ててしまうことのないよう、いつでも必要なときに取り出せるようにしておくのもいいのではないのでしょうか。



リサーチ&レポート発表会を終えて

2月4日(木)は阿南市文化会館・夢ホールで「リサーチ&レポート」の全体発表会がありました。10人の代表者の発表は堂々としていて、内容も興味深いものばかりで素晴らしいかったですね。みなさんの成長が眩しかったです。☆

発表者の感想から

僕は発表者として12月からパワーポイントの作成に取り組んできました。実際に取材に行ったり調べたりしてきた分、発表できた経験はとても大きなものになりました。他の発表者とCAルームに行き作業をした時間はとても楽しかったです。みんなそれぞれがもった疑問を徹底的に調べて堂々と全校生徒の前で話しているのを見て、「こんなにすごい人達と一緒に頑張ってきたんだ」と思った時は達成感にあふれていました。発表はしっかりと噛み倒してしまいましたが、あの10分間は本当に一年間研究をしてきてよかったと思えました。楽しかったです。

今日は、R&Rの発表の日でした。私は発表者だったので、冬休みも学校へ来て毎日7時くらいまで残って原稿を考えたり、パワーポイントを作成したりと、R&Rのためにたくさんの時間をかけました。家でも、見たいテレビを我慢して発表の練習をしました。去年までの先輩たちがこんなに大変だったことを初めて知りました。リハールでは何度もダメだしをされて原稿もPart6くらいまで作り直しました。すごく頑張りました。発表の直前は緊張しすぎていましたが、友だちが「がんばれ」と励ましてくれました。本番ではクリックし忘れたり、読む文を間違えたりと、ミスが目立ってしまいました。完璧にできなくて、とても悔しかったです。他の代表者の発表も、練習の過程で聞いたことがありましたが、改めて聞くと、とても面白かったです。

今日のことは、とても良い経験になりました。今まで頑張ってきたので、帰ってセブンネットでグッズを買いました。嬉しかったです。両親にも今日の発表を聞いてほしかったです。



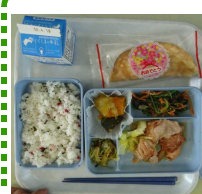
保護者のみなさまへ

いつも本校教育、ならびに本学年の教育活動にご理解と温かいご支援をいただき、心より感謝いたしております。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、文化祭や体育祭をはじめ、学校行事が非公開になってしまい、お子様の学校での様子を直接見ていただくことができなかったのが大変残念に思います。しかし、このコロナ禍においても、本学年の生徒達はいつも明るく、何よりも元気に学校生活を送ることができました。これもひとえに、保護者の皆様方が温かい愛情をもって、お子様の心と体の健康サポートをしていただいたおかげです。本当にありがとうございました。

あと少して卒業式を迎えることに、私どもは寂しさを感じておりますが、来年度からも、近くでお子様達の成長を見守らせていただきたいと思います。至らぬ点は多々あったと思いますが、これからも引き続きよろしくお願いいたします。大変お世話になりました。

3年職員一同

給食に感謝!



みなさん、憶えていますか？これは、みなさんが入学して初めて食べた給食です。デザートにはみなさんの入学を歓迎して「おめでとう」クレープがついています。この給食から3年間、小学校から数えると、ほとんどの人が9年間「給食」のお世話になったのではないのでしょうか。ラストの給食は3月12日(金)です。感謝して食べたいですね。

★キャリア教育講演会、人権学習DVD視聴の感想です★

徳島大学 先端酵素学研究所 教授 松本 満先生の講演を聞いて

◆私の母が医療関係者であることもあり、医療の仕事に興味がありました。将来は、薬剤師として徳島大学で研究することが夢です。そのため、今回松本先生のお話を聞くことができ、とてもためになりました。富岡東中学校特有の科目であるR&R(リサーチ&レポート)の時間に、鎮痛剤について調べる機会があり、研究から得られる成果や学び、喜びを実感することができ、研究という活動への興味・関心が高まっている中で、松本先生の研究経験をお聞きすることができ、これからの人生においての参考になりました。これから自分が目指していくべき道がはっきりわかった気がします。(一上莉里奈)

◆自己免疫疾患の研究について、お話されている松本先生の顔が、とても生き生きしていらして、本当に研究することを楽しんでいらっしやるのだと見ていて思った。ご両親の強い期待にこたえて医学部進学という道を選んだのだと聞いて、正直少し驚いた。医学部は狭き門で、合格して6年間学んだとしても医師国家資格がとれないければ、医師として働くことができない。「人の命を救いたい」と思う強い気持ちがあれば、医師になるまで、そしてなった後の大変な日々を耐えるのはとても難しい



と思っていただけだ。しかし、今回の講義を聞いて、人生を歩んでいく中で、自分の道を見つけることができるのだと学んだ。そして、身近な人のアドバイスや助言は、道を照らしてくれる明かりのような、人生を豊かにしてくれるものなのだ、改めて感じた。(山本 千晶)

◆今まで、「早いうちに将来の夢を決めなければいけない」とずっと思っていたけれど、松本教授の話を聞いて、偶然も大切にしてみようと思うようになりました。しかし、よい偶然に巡り会うためには、様々な知識や経験が必要だと思うので、これからいろんな分野のいろいろなことにチャレンジして、視野を広げていきたいと思いました。

また、一つのことを長年突き詰められているのは本当にすごいと思いました。私は小さい頃からバレエを習っていますが、辞めたいなと思ったことが何度かあります。つらいことや苦しいことを経験しながらも、継続することの大切さを改めて感じることができました。私も将来、松本教授のような、代わりのいない唯一無二の存在になれるよう努力したいです。(永岡 里彩)

◆今回の松本教授の講演で、新しく未来の決め方を知ることができました。今まで、私は安定していて、かつ自分が幸せになる未来にするためには、学生の頃から自分で道順を決めて、その通りに進んでいくことが鉄則だと思っていました。しかし、松本教授のように、周りの方々のアドバイスなどから影響を受けながら、その時に決断していくことも、自分に合う未来を手に入れられるための一つの方法だと知りました。また、仮にその方法で進んだ結果、想像と違う方向へ行っただとしても、今までにつけてきた力や、積んできた経験などは大きな武器となると感じました。現に、松本教授は英語が得意だったことが研究論文を書く際や海外留学などに非常に役に立ったと思います。

これから、私の望む未来へと確実に進んでいながら、周りの方々の助言を受け止めつつ、時には挑戦したりして、柔軟に生きていきたいです。(谷 夢叶)

◆松本教授のお話を聞いて、たくさんの選択肢がある際に、自分で決めるだけでなく、出会った人の発言や、運命も取り入れて選択しようと思いました。その選択をしたのちに後悔しそうなとき、後悔する前に一生懸命にそのことに取り組んで、やりがいや楽しみを見つ



けることが大切だということを知りました。松本教授が論文を書く時に、研究に限りはなく、自己満足で終わらないようにして、成果を見つけているとよい評価がもらえることが多いとおっしゃっていました。そのお言葉を聞いて、勉強にも同じことが当てはまると思いました。(岩田 亞夕)

◆この講演を聞いて、私は先生の生き方にも研究の内容にもとても興味をもちました。私は、自分でよく考えることが大切だと、ずっと言われてきたけれど、先生は、人に言われたとおりに生きてきたとおっしゃっていて、それも一つの生き方になって思いました。また、先生のお話を聞いていて、いろいろなことを経験することも大切なんだと思いました。人から指示や助言を受けて、たくさんのことを経験された先生は、大きな後悔がないような、すごくいい人生を送ってこれたようで、憧れます。先生は私の周りの人とはまた違った考え方をされていて、とても参考になりました。先生が研究されている自己免疫疾患について、私は以前から興味をもちました。この病気は原因が分からないので、はっきりとした検査方法や治療方法がないものが多いのに、患者さんも多いので、原因を探している研究者がたくさんいることは知っていました。でも、徳大の先生が研究されていることは知らなかったので、今回詳しく聞くことができ本当に嬉しかったです。この研究が進んで、原因が分かればいいなと思いました。今回の講演を聞き、少し興味があった研究者という職業への関心が高まり、進路についての視野が広がり、将来の新しい選択肢が増えた気がします。私が将来について考える機会を与えてくれた貴重な講演でした。(山上 愛結)

◆講義を聞いて、いろいろなことを知ることができました。まず、医療関係に進むことは少し難しいけど、その分やりがいを覚えることがわかりました。そのことを知るまで、僕はこのような仕事はただ難しいことをして安定的に収入を得るだけだと思っていました。しかし、

松本先生の話聞いて、この仕事はとてもやりがいがあって、自分の興味・関心を追求できるものだと知りました。僕は今、科学に興味があります。ある小説を読んでいくうちに、どんどん興味がわいてきました。今回の話を聞いて、もっと科学系統のものに興味・関心をもちました。これからの人生の中では、他のさまざまなものにも興味・関心をもちたいかも知れません。なりた職業が決まったときは、その仕事のやりがいや、本当に自分が楽しむことができるのかをきちんと確かめようになりたいです。(芝原 遼)

『夢見た国でみたものは①』 -技能実習制度の間-を見て

◆DVDを見て、たくさんの衝撃を受けました。家族のために借金をしてまで、たった一人で知らない国にやってくる技能実習生の方々。そんな人たちに暴言や暴力を浴びせかけ、劣悪な環境で長時間労働をさせ、挙げ句の果てには重機をぶつけて大けがをさせる。同じ日本人としてとても悲しくなるとし、技能実習生の方々に申し訳ないと思いました。さらに驚いたのは、記者の方が加害者側に質問しているところです。どのケースでも会社側は「偶然だった」「知らなかった」などと話して責任をとるところか、謝罪すらないというのにはショックを受けました。嘘をつけてまで逃げる。そんな人が人の上に立つのはやめてほしいと思っただし、技能実習生の受け入れもやめてほしいです。そんな人たちのせいで、日本を、日本人を嫌いになったり誤解したりしてほしくないからです。今回のDVDを見て、日本のよくない面について知ることができました。今までもニュースなどで、そういう問題について聞いたことがあったけれど、詳しいことは何も知りませんでした。番組の中に出てきた、「どの国にもよい人も悪い人もいる」という技能実習生の言葉が心に残りました。これからは「悪い人」が一人でも少なくなるようにしていかなければならないし、自分も「よい人」に入りたいと思います。(岡久 颯真)

◆私は今回DVDを視聴して、企業から技能実習生だからという理由で他の日本人労働者と対等に扱ってもらえなかったり、とても劣悪な労働条件のもとで働かされたりしている外国人の方々が多くいることを初めて知りました。また、そのような問題が徳島県内でも頻繁に起こっているにも関わらず、そのほとんどが報道されないまま闇に葬られてしまっている現状に、やるせなさが入り込んできました。

DVDの中で挙げられていた技能実習生たちの働く環境は、想像を絶するほどひどいものであり、労働基準法をはるかに超える労働時間に対して賃金が未払いのままであることや、技能実習生に対する暴力や嫌がらせが日常的に繰り返されていたことなどです。その中でも私が特に驚いたのは、技能実習生のパスポートを企業側が2年以上も管理しているという内容でした。法を犯すことはもちろんですが、彼らの自由を奪い、自分たちの都合のいいように働かせ続けようとしていた企業の行動は決して許されることではありません。

DVD視聴を終えたとき、私は一部の企業のひどい仕打ちにより失われてしまった徳島県、そして日本に対する信頼を取り返したいと思いました。このことに関して私にできることは限られているかもしれませんが、しかし、今回学んだ事実を発信していくことが、技能実習制度の問題を社会に提唱するための第一歩につながるのではないかと感じました。誰もが幸せに暮らせる社会にするために、自分にできることは何かを考え、日々を大切にしていきたいです。(藤田 咲良)

◆今回、技能実習制度の実態を知って、日本にはこれほど悲惨な労働環境が未だにあることにすごく驚きました。外国人だという理由だけで長時間労働をさせられたり、暴力を受けたりと、普段の生活をしているだけでは気づかない間が日本にもあったことを知りショックでした。技能実習生は、日本でしっかり働いて母国にいる家族に恩返しをしたいという人が多かったです。しかし、その夢を裏切る現実が、実は身近にあるということをおもいにも知らずにいました。

技能実習生が過酷な労働環境でも一生懸命働いて作った製品を、今僕たちが使って生活をしていると思うと、他人事では済まされないと思いました。日本は、世界から見ると、憧れてもらえる場所かもしれないけど、実際にはひどい目にあっていない人が多数いるという現実には絶対に変えなければならないので、将来は法整備などを進めるなど、もし自分が人を雇う立場になった時には、国籍に関係なく平等な環境を整えたりして、よりよい未来にしていきたいと思いました。全ての人が暮らしやすい世の中になることを願っています。(吉田 新一朗)

◆今回『夢見た国でみたものは』を見て、私はとても衝撃を受けました。技能実習制度のこの問題について取り上げているニュースをテレビで見る程度で、あまりよく知らなかったけど、今回見たDVDはとて

心に残りました。一人目のベトナム人のフンさんが、作業中に車を当てられて複雑骨折をしてしまって、左の肩が上がらないのを見て、とても心が痛かったです。二人目の人のタイムカード2枚の問題も、三人目の人たちの内職の話も、聞いていて本当に悲しくなりました。何より一番聞いていて悲しかったのは、徳島にも技能実習制度で来ている人にこんなことをする人がいたということです。ひどいことをされた人の話を聞いたあと、技能実習制度を採用している会社はみんなそんなことをするのかと思っていたけれど、フンさんを雇った大阪の会社では、日本人と外国人で差別などしておらず、「これが普通」だと言っていたのを聞いて、差別しない会社があることに安心しました。しかし、同時に差別している会社を取りあげられているほどに多いことに怒りを覚えました。中学生の自分にできることは、このことをよく知って、広めることくらいしかないと、とてももどかしく思いました。早くこの問題がなくなるのが一番だけど、将来このような問題にぶつかっている人の力になれるような大人になりたいです。(萩原 詩織)

